

「書店」は本を通じて多様な知識、カルチャーに触れることができる貴重な場所です。また、地域コミュニティに根差した「まちの文化拠点」としての機能を果たして来た場所でもあります。そんな書店が近年、様々な事情で街から姿を消しつつあります。改めて今、書店の魅力やこれからあるべき姿について掘り下げて発信するため、多様な視点からディスカッションいただく座談会を開催します。本や書店に関心をお持ちの皆様のご来場をお待ちしています。

○本会は広島開催に続く第2回となります。

令和6年

12.17 13:00
火 14:30

@ 松江テルサ中会議室
島根県松江市朝日町478-18

入場無料

登壇者



白石 祐治 氏
江府町長

昭和57年鳥取県入庁。環境立県推進課長等を経て江府町副町長を務め、平成28年8月同町長に就任。JR江尾駅近くにあった町内唯一の書店跡地に新たな書店を復活させ、駅前のにぎわいを取り戻すべくタウンミーティングを進めている。



野津 廣一 氏
島根電工株式会社 代表取締役社長

松江市出身。本との出会いはとても楽しい。読みたい本が見つかったときや本を開くときのワクワクが止まらないからだ。仕事を離れて読む本のジャンルは特に宇宙に関する本が多い。科学書籍に文学書、いずれもロマン馳せて夢中にさせてくれる。



小村 優衣 氏
小村書店

出雲市平田町にて100年以上続く書店を家族で経営。元保育士の経験を活かしてイベント出店や絵本の講演会など様々な活動に取り組んでいる。書店が減少していく中で、子どもたちの未来に本屋を残そうと奮闘中。



MINAMI 氏
アクア☆マジック

島根ササノオマジックのオフィシャルチアパフォーマンスグループのキャプテン。週に一度は書店を巡り、ファッション誌から哲学・心理学、エッセイなど手に取るジャンルは多岐に渡る。読書の時間はインスピレーションの源となっている。



和田 夢果 氏
島根県立大学

幼いころから祖父の影響で朝刊新聞の4コマ漫画を楽しみに、スクラップしていました。大学ではまちづくりを学んでおり、様々なフィールドに出向き、新しい人との出会いを始め、その地の地元本屋さんや喫茶を巡ることを楽しんでいます。



ファシリテーター
實國 慎一 中国経済産業局長

広島県出身。生来の積ん読派だが、結婚を機に場所と時間は有限と諭され、自宅で眠ったままの本に光を当てる作業を継続中。ただ、本屋で一目惚れし即買いすることも多いため、作業は順調に進まず。

in 松江

書店と地域の未来 について語る座談会



書店と地域の未来について語る座談会

観覧申し込みについて

- ・観覧を御希望される場合は、下記問い合わせ先に12月13日（金）までに所属・氏名・電話番号をご記載の上メールにてお申し込みください。
- ・申込数が定員（40名程度）に達した場合には、期限前に応募を締め切る場合がございますのでご了承ください。
- ・座談会の模様は各種メディアの取材を予定しています。また、中国経済産業局でも撮影して後日経済産業省のyoutubeチャンネルにて公開する予定です。写真・映像内に写る可能性がありますことをご了承の上お申し込みください。

取材について

- ・取材を希望される場合、下記問い合わせ先にその旨を明記して社名・氏名をご記載の上12月16日（月）までにメールにてお申し込みください。
- ・開会から終了まで全内容について取材いただくことが可能です。
- ・終了後、登壇者及び中国経済産業局長が個別に取材に対応する時間を設ける予定です。

問い合わせ先

中国経済産業局 書店振興プロジェクト事務局（産業部 流通・サービス産業課内）

担当者：高橋、伊東 電話：082-224-5655 メール：bzl-cgk-sa-bisu@meti.go.jp

●個人情報の扱いについて

いただいた個人情報につきましては、本座談会開催以外の目的には使用いたしません。

